学校番号	T1206

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（通）保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもがどう発達するのか、子どもにはどんな保育が必要なのか理解し考えていきましょう。
・職業として子どもに関わる保育者の視点から、保育に関する知識や技術を身につけましょう
・子どもを取り巻く環境の変化を学び、生活上の問題や課題を発見し、解決方法を考え実践するための知識や技術を身につけよう

2　学習の到達目標

(1)子どもの発達とそれに伴う保育に関する知識と技術を習得する。
(2)子どもに関わる職業からの視点で保育をとらえ、子どもを育てる能力と実践的な態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達や子どもの生活・福祉・文化などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。	子どもの発達や子どもの生活・福祉・文化などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や子どもの生活・福祉・文化などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的、実践的に取り組む態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	子どもの保育	保育の意義 保育の環境 保育の方法	a:「保育」の意義と、保育者のあるべき姿について考える。 B：子どもが育つ環境に必要なことは何かを考え、保育施設の特徴と働きについて理解する。 c:保育の方法の基本をとらえ、年齢に応じた保育の方法を学ぶ。	プリント 定期考査	レポート 課題の発表 定期考査	課題の発表 授業態度

後期	子どもの発達	子どもの発達の特性	a:発育と発達の意味を学び、その特徴について理解する。 b:乳幼児期における発育・発達の特徴とその重要性について学び、適切な対応とは何かを学ぶ。	プリント 定期考査	レポート 課題の発表 定期考査	課題の発表 授業態度
		乳幼児の発育と発達				
	子どもの生活	子どもの健康と生活	a:子どもの健康を守り、成長・発達を支えるための知識と技術を学び、保育者としての態度を身につける。 b:乳幼児の食事の重要性を理解し、食事習慣と生活リズムの関係について学ぶ。 c:子ども特有の病気や安全について学び、現代の日本の子どもの健康課題について考える。	プリント 定期考査	レポート 課題の発表 定期考査	課題の発表 授業態度
		子どもの食事				
		子どもの衣服と寝具				
		子どもの健康と安全				
	子どもの福祉	保育にみる児童観	a:子どもの権利と福祉について学び、子どもの幸せを支える社会の仕組みについて考える。	プリント 定期考査	レポート 課題の発表 定期考査	課題の発表 授業態度
		児童福祉の理念				
	子どもの文化	子どもの文化の意義	a:子どもを取り巻く遊びや文化について理解を深める。 b:子どもにとっての遊びの意義や発達における重要性について考える。 c:子どもにとっての表現活動の意味を理解し、発達に応じた表現活動の形や方法について学ぶ。	プリント 定期考査	レポート 課題の発表 定期考査	課題の発表 授業態度
		子どもの文化を支える				
		子どもと遊び				
		子どもの表現活動				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度